

平成 30 年 3 月新庁舎整備検討特別委員会の内容について

平成 30 年 3 月 9 日の新庁舎整備検討特別委員会において、第 1 回有識者会議における主な意見を報告しました。

委員から出た主な意見及び委員会において示した市の考え方は以下のとおりです。

	委員（市議会議員）意見
候補地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在地は県が進めている明石港東外港地区再開発計画と関連して、観光やインバウンド等を絡めることで重要な土地になると思う。 ・ 明石駅周辺は車のアクセスの問題がある。また、駐車場の確保についてはどのように考えているのか。 ・ 南海トラフも含め防災安全を最重要視すると、標高も高く、地盤もしっかりしている J T 跡地を防災拠点として活かす方法が考えられる。
配置案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一棟建てが難しかったり、他の案よりもメリットが大きいということであれば、分散案も選択肢としてはあると思うが、基本的には単独一箇所が理想である。 ・ 他自治体への視察で聞いてみると、最初の検討段階では分散配置という話が出るが、最終的にそうなったところはないと聞いている。シンボルとしての庁舎は、どこか一箇所に決めざるを得ないと思う。
機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンビニでも住民票を取れるようになることも想定されるので、本庁舎に市民が来るということを過度に重要視する必要はないのではないか。 ・ 明石市は東西に長く、明石、西明石、大久保、魚住、二見に窓口機能を充実すれば、利便性は解決するのではないか。
まちの賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎移転で懸念されるまちの賑わいについては、民間に大蔵海岸まで一体的に開発、整備してもらい、観光によって活性化するという方向が考えられる。 ・ 市役所職員が様々な形で周辺店舗を利用することがまちの賑わいの一つになっていると考える。1,000 人以上の職員が違う場所に動くということのまちに与える影響は重要であり、新庁舎の整備に当たっては、その面も含めながら考えていかなければならないと思う。

※市の考え方は裏面に記載

市の考え方

- ・明石港の特徴を活かした開発を目指し、新庁舎の整備とどのように関係してくるのかも含めて県と連携していきたい。
- ・明石駅周辺の具体的な場所としては、現時点では明石駅北側の立体駐車場の案しか示せておらず、新たな駐車場の確保や道路アクセスなどの課題もあることから、民間の土地の活用も含めて整備場所の特定を進めていきたい。
- ・各候補地ごとに費用面、規模、建設内容等を具体化した案を示したいと考えている。
- ・市民サービスのあり方については、明石市都市ビジョン（素案）において「ミニあかし」、「ミニ市役所構想」という形で示しており、それを基に将来のサービスのあり方を考えていきたい。あわせて、市役所の役割、機能についても整理して具体的にしたいと考えている。
- ・単独案の候補地については、「現在地」、「明石駅周辺」、「JT跡地」の3候補地に絞らせて頂きたい。
- ・委員会におけるこれまでの議論も有識者会議も「本来は一棟型が望ましい」という意見であることから、分散案については「明石駅周辺とJT跡地の2分散配置案」を中心に検討を進めていきたいと考えている。